

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和3(2021)年2月17日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「13日の深夜に発生した地震の時には、緊急の出動等があって、大変な思いをされたと思う。岩手県はあまり大きな災害に見舞われなかったのは不幸中の幸いであったが、まだまだ余震も続くようなので、警戒を怠らずにしっかりとした体制をとっていただきたい。もう一つは、昨日訪問したある会社の話であるが、社員のモチベーションを高める様々な取組を積極的に行っていたので参考までに紹介したい。1つ目は、社員に対して技能検定の資格を取るよう働きかけており、例えば電子部門の特級や1級などで、岩手県でも珍しい事例のようであるが、特級が1名、1級となると50名以上の社員がその資格を取っている。そして何よりも、社内の掲示板に取得した資格と社員の名簿が掲示されている。技能オリンピックという催しがあり、去年は開催されなかったようであるが、開催される時には岩手県から出場の要請もあるようで、それにも積極的に対応していくと話していた。2つ目は業務の改善を図るために、数人の小集団グループで日常の業務の改善を図っていくというものである。グループ間競争を行いながら、社長賞として1位には賞金を差し上げるような活動を行っていて、もちろんそれはコストの削減や業務の効率化等様々なことに効果を発揮するわけであるが、それだけではなく優秀なグループについては、またこれも目に付くところにその成果を紙にまとめて大きく掲示されている。また、社員1人1人が年間目標を絵馬の様な形をした紙に書き、社内の目に付く場所に掲げていた。目標を決めた時に誰にも話さず、自分の内側だけに持っているだけでは、中々実現しようとするきっかけにならないと言われていたが、やはり目標を立てた時には誰かに話したり、或いは目に付くところに貼っておくことが、非常に実現しようとする力になるとも言われており、正にそういったことがこの企業の中で行われていると思う。さらに、この会社では毎年年間の業務上、或いは業務外の行事等も含めて、社員の様々な活動を1本のビデオにまとめ、これを忘年会や新年会等で多くの人と一緒にそれを楽しみながら見ているそうである。このように会社の一体感を醸成する様々な取組を見させていただいた。働き方改革を考えると、単に休みを増やしたり、或いは業務の効率化や簡素化等も確かに大事ではあるが、働く中で自分の意欲をかき立てられるものを実現できることが1番大事であると思っており、正にこの会社の色々な取

組がそういうことの実現を出来ている1つの証ではないかという印象を受けた。是非参考にしていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 被疑者取調べ監督実施状況について（令和2年）

警察本部から、「令和2年中の被疑者取調べ監督実施状況について報告する。被疑者取調べは、県下で6,770件実施され、前年比で226件減少した。監督対象行為については、当県での発生はなかった。巡察については、延べ26回実施し、巡察官等による取調べの視認は2件であった。被疑者取調べに関する苦情受理件数は4件あり、調査の結果、いずれも監督対象行為はなかったものである。」旨の報告があった。

《 委員質疑 》

「監督対象行為がなかったことは、これまでの指導、教養の賜であるので、今後も継続していただきたい。一方で、巡察の実施状況について、延べ回数と視認の回数が昨年に比べて減少しているが特に理由があるのか。」

→本部発言

「巡察の実施方法を改めたことのほか、コロナ禍により巡察を延期するなどしたことが影響したものであるが、延期分については本年1月中に実施し、令和2年分は終了している。」

○ 令和2年度2月補正予算概要について

警察本部から、「令和2年度2月補正予算概要について報告する。県議会2月定例会に追加提案する補正予算案は、令和2年度に予算措置された事業の過不足の調整を行うものであり、補正要求額は全体で約7億5,643万円の減額となっている。主な補正内容は、中型ヘリコプター導入経費に関し、コロナ禍により中型ヘリコプター更新配備に伴う操縦士等訓練及び装備資機材整備の実施時期を来年度に変更したことによる減額補正、交通安全施設整備に要する経費に関し、復興道路へ設置する可変標識工事に係る契約残の減額補正、給与費に関し、給料、諸手当、退職手当等について支給実績、支給見込みに基づく減額補正となる。また、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費に関しては、消毒剤、被留置者用マスク、庁舎管理用サーモグラフィカメラなど、新型コロナウイルス感染症対策として必要な装備資機材の整備経費を来年度に繰り越し予定のため増額補正するものである。」旨の報告があった。

○ 「令和3年全国優秀警察職員表彰」受賞者の決定等について

警察本部から、「令和3年全国優秀警察職員として、盛岡東警察署の伊東浩二警部補の受賞が決定した。警察庁における表彰式が中止となったことから、当県において伝達式を行うこととする。」旨の報告があった。

【生活安全部議題】

○ 福祉犯の検挙状況等について

警察本部から、「令和2年中の福祉犯の検挙状況について、前年と比較し、検挙件数は増加したが、検挙人員及び被害者数は減少した。福祉犯被害の特徴としては、SNS等を利用したことに起因しての被害が約7割を占めていたこと、限定された被害児童が複数又は同一被疑者から同様の被害に遭っている状況が認められることなどが挙げられる。また、コロナ禍の影響についてであるが、全国的に児童買春やみだらな性行為の検挙件数が減少しているところ、当県での検挙はいずれも増加している。今後の取組として、中学校、高校等での非行防止教室を通じて、SNS利用に伴う自撮りの危険性等、各種の福祉犯被害防止指導を継続するとともに、サイバー空間を利用した福祉犯の取締りと注意喚起広報を目的としたサイバーパトロールの実施等を推進する。」旨の報告があった。

《 委員質疑 》

「コロナ禍により、全国的には減少した児童買春やみだらな性行為の検挙件数について当県が増加した要因は何かあるのか。」

→本部発言

「昨年前半は、コロナ禍により捜査が停滞することもあったが、認知は例年並みにあったため、短期間において、各署での共同捜査、或いは他県との合同捜査を実施し検挙した状況である。」

《 委員発言 》

「現在は、ツイッターなどで様々な情報発信が研究されているほか、若い人は急速に新しいソフトに移っている状況にあるので、そういうところにも敏感になって対応していただきたい。」

【その他】

警察本部から、動物愛護法違反事件の検挙について報告があった。

■個別会議

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁
処分保留者に対する行政処分についての説明、決裁
運転免許課業務報告

○ 警務課

警務課業務報告

○ 監察課

運転免許停止処分に対する審査請求の受理についての説明、決裁

○ 情報管理課

情報管理課業務

○ 交通企画課

聴聞の実施についての説明、決裁

○ 総務課

国家公安委員会あて文書の受理・処理の説明、決裁